

放課後子ども教室だよ

いわしろ子ども教室

令和5年8月25日(金)訪問

「いわしろこども教室」は地域の少子化と、学童保育へ移行する家庭の増加による参加人数の確保が課題でした。そのため、今年度から学童保育と連携し、希望者には、子ども教室へ参加できるようにしました。

訪問した日は、みんなでシャボン玉飛ばしをしていました。スタッフは地域のお年寄りが多いので、子どもたちは自分の祖父母のようにスタッフを慕って、大きなシャボン玉を作るコツを教えてもらっていました。また、子ども教室の活動場所は小浜小学校の空き教室なので、活動がある日は、校長先生や先生方も子どもたちの様子を見に来てくれるそうです。訪問した日も、先生方が教室を訪れ、一緒にシャボン玉飛ばしを楽しんでいました。子どもたちも地域の方々や先生方に見守られ、安心して活動に取り組んでいました。

シャボン玉をやったことがない子どもたちもいたので、子どもたちに体験する場を作ることは大切だと感じました。スタッフとして子どもたちと関わるようになって、子どもから声を掛けてくれるようになりました。子どもたちの成長が見られるのも嬉しいです。



地域住民の
生きがいく

地域学校協働活動スタッフ



放課後子ども教室以外では、地域のお年寄りと話することがあまりありません。地域の方は優しく教えてくれます。上手にできると褒めてくれるので、嬉しいです。

自己肯定感の向上



様々な体験活動



子どもたち



「小1の壁」という言葉を聞いたことがありますか？「小1の壁」とは、保育所に比べて放課後児童クラブが不足していることや開所時間が短いことから小学校にあがる際に親が働き方を変えざるを得なくなってしまう問題です。

福島県では、「福島県放課後子ども総合プラン」において、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型・連携型での取組を進めています。